

# 香南市工業用水道事業の紹介

## ○事業の主旨

香南市の工業用水道事業は、合併前の旧香我美町工業用水道事業で、昭和46年の農村地域工業導入促進法の制定に基づき、昭和51年に旧香我美町農村地域工業導入実施計画を策定し、工業団地の造成を行い誘致した半導体製造工場に給水するものである。同工場は操業以来順調に発展し、第2棟目の建設の計画もあり、すでに用地を取得している。さらに、工業用水の給水体制（日量6,000立方メートル）も整っており、今後早い時期の増設により地域産業の振興に重要な役割を果たすことを期待するものである。

## ○事業の経緯

香南市の工業用水道事業は水源を香宗川水系の地下水に求め、昭和60年11月25日工事に着工、土居地区で取水井5カ所、刈谷地区で配水池1池（550立方メートル）等を築造し昭和61年3月25日完工した。給水能力は日量2,500立方メートルで、取水開始は昭和61年7月1日であった。昭和63年からは全面操業に入り、既設の2,500立方メートルでは不足を生じることとなった。このため同年既設井戸和田水源地から取水を計画し、配水池（貯水量600立方メートル）の増設に踏み切り、日量3,000立方メートルを給水することとなった。その後ユーザーの増産計画に伴う需要量増加が見込まれたため、平成13年度に新たな取水井刈谷水源井を設け給水能力を上げ、日量1,000立方メートルを増加し4,000立方メートルとした。

また、土居水源地の取水井が老朽化により、取水が不安定になったため、新たに土居水源地の敷地内に平成17年度井筒工法により、取水井の掘り換え工事を行うとともに電気計装設備及びポンプ設備について更新を行った。これにより今後土居水源地からは安定的に取水できることとなった。

## ○ユーザーの概要 (平成20年4月1日現在)

業種	給水件数	契約数量(m <sup>3</sup> /日)
電気・機械	1	3,950
合計	1	3,950

## ○工業用水道施設の概要

香南市の工業用水道事業は、3カ所の水源地（土居水源地、刈谷水源地、和田水源地）から取水し、すべて地下水を水源とし、取水後、送水管にて配水池に送水し、配水池からは自然流下にて需要先へ供給している。

取水方法は井筒工法2カ所、ボーリング工法1カ所である。

送水管は口径100mm～250mm、3,215m、配水管は口径200mm、693mである。

配水池は2池（550立方メートル1池、600立方メートル1池）である。

## ○事業の特長

土居水源地の地域では適正な取水を図るため、水源井対策委員会を設置している。

また、土居水源地では周辺の地下水位を観測するため、地下水位自記水位計を設置している。

## ○施設概要図

